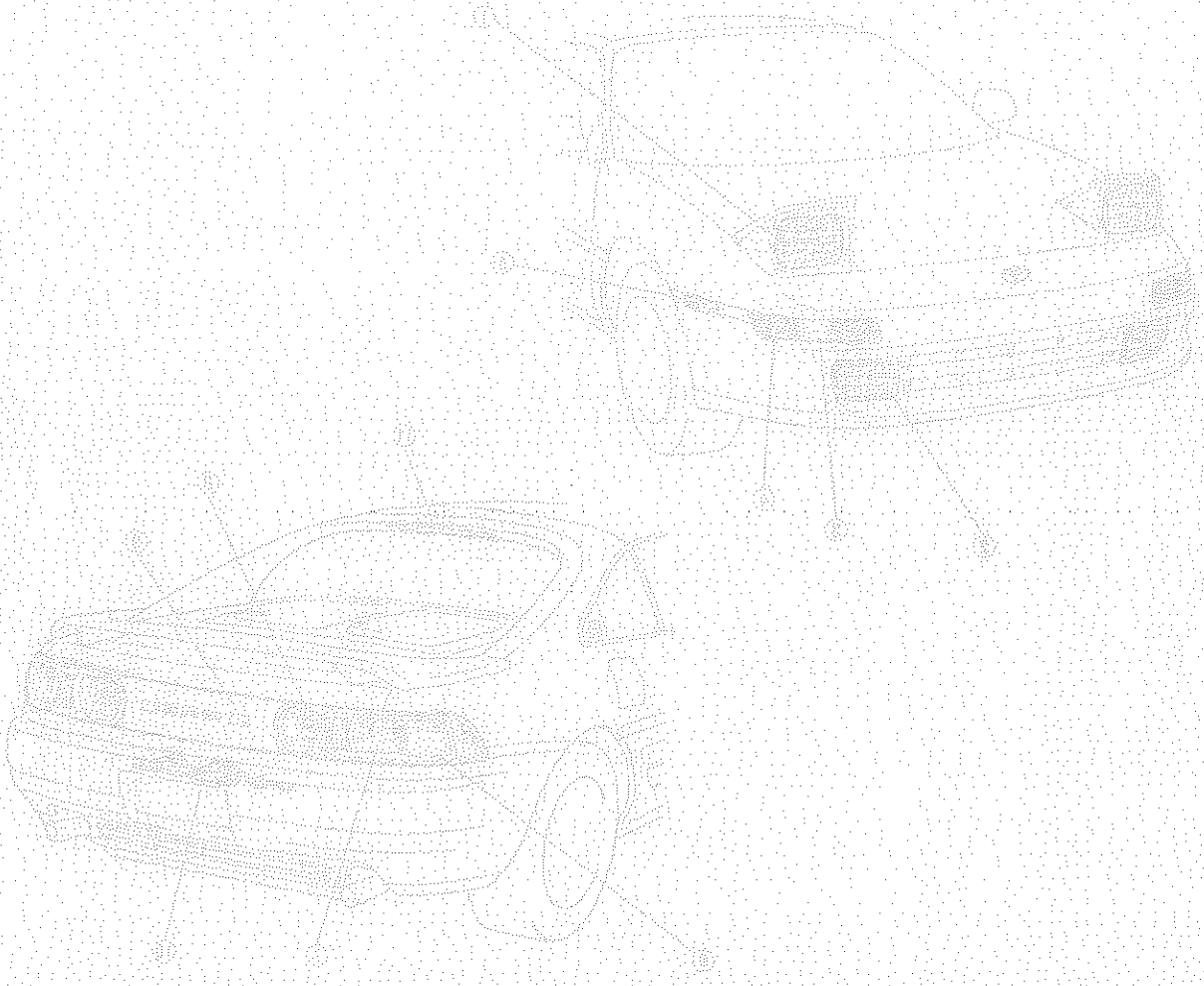


# 4 エレクトリカル

- 4・1 ライティング ..... 4-2
- 4・2 ヒーター & エアコンディショナー ..... 4-5
- 4・3 オーディオ ..... 4-7



4

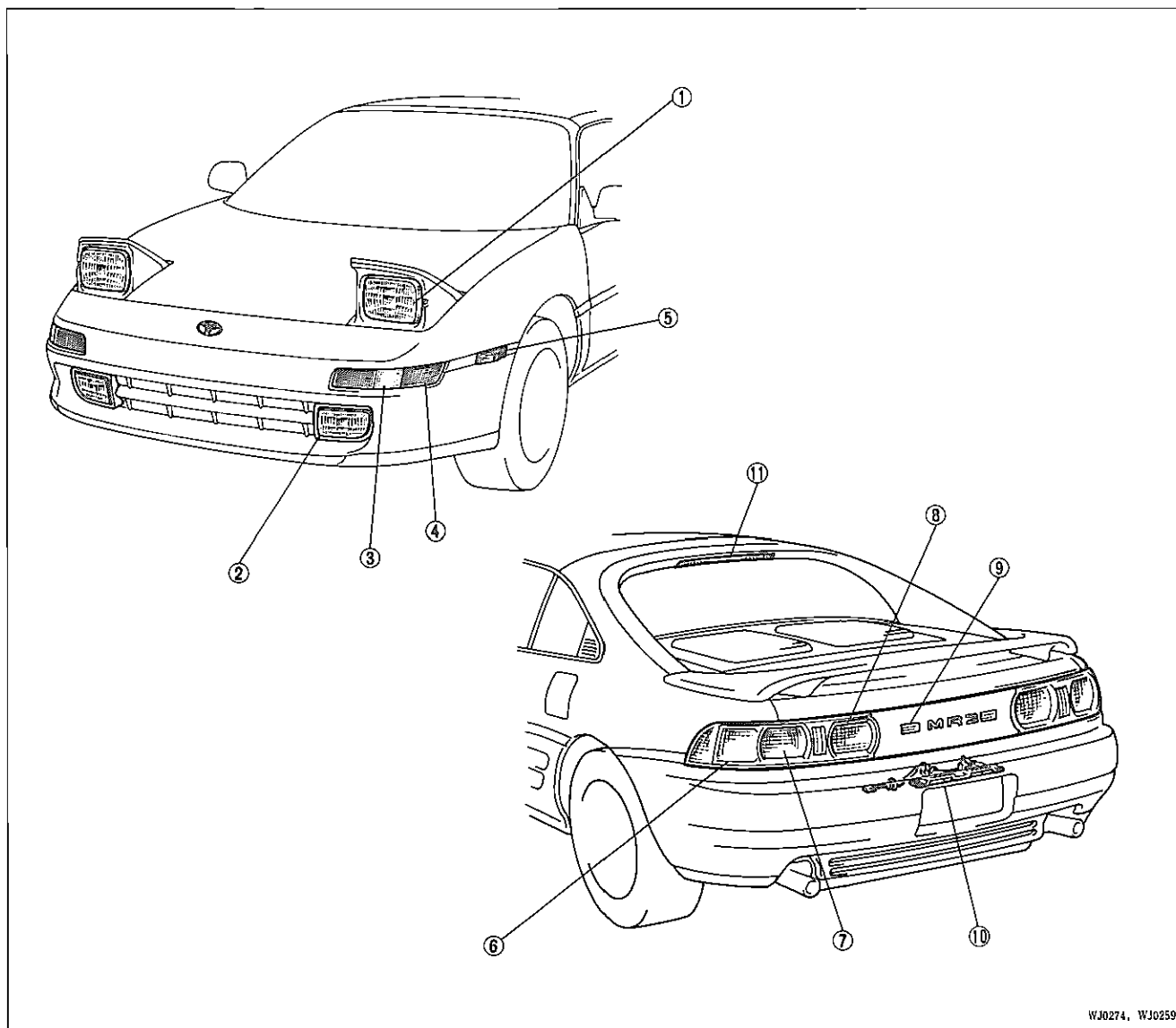
4・1

## ライティング

## ■概要

リヤコンビネーションランプを変更し、各ランプのレンズを独立した意匠とするとともに、丸を基調としたものとし、見栄えの向上をはかりました。

また、バックアップランプをローワーバックフィニッシュセンターパネル組み込みタイプに変更しました。



WJ0274, WJ0259

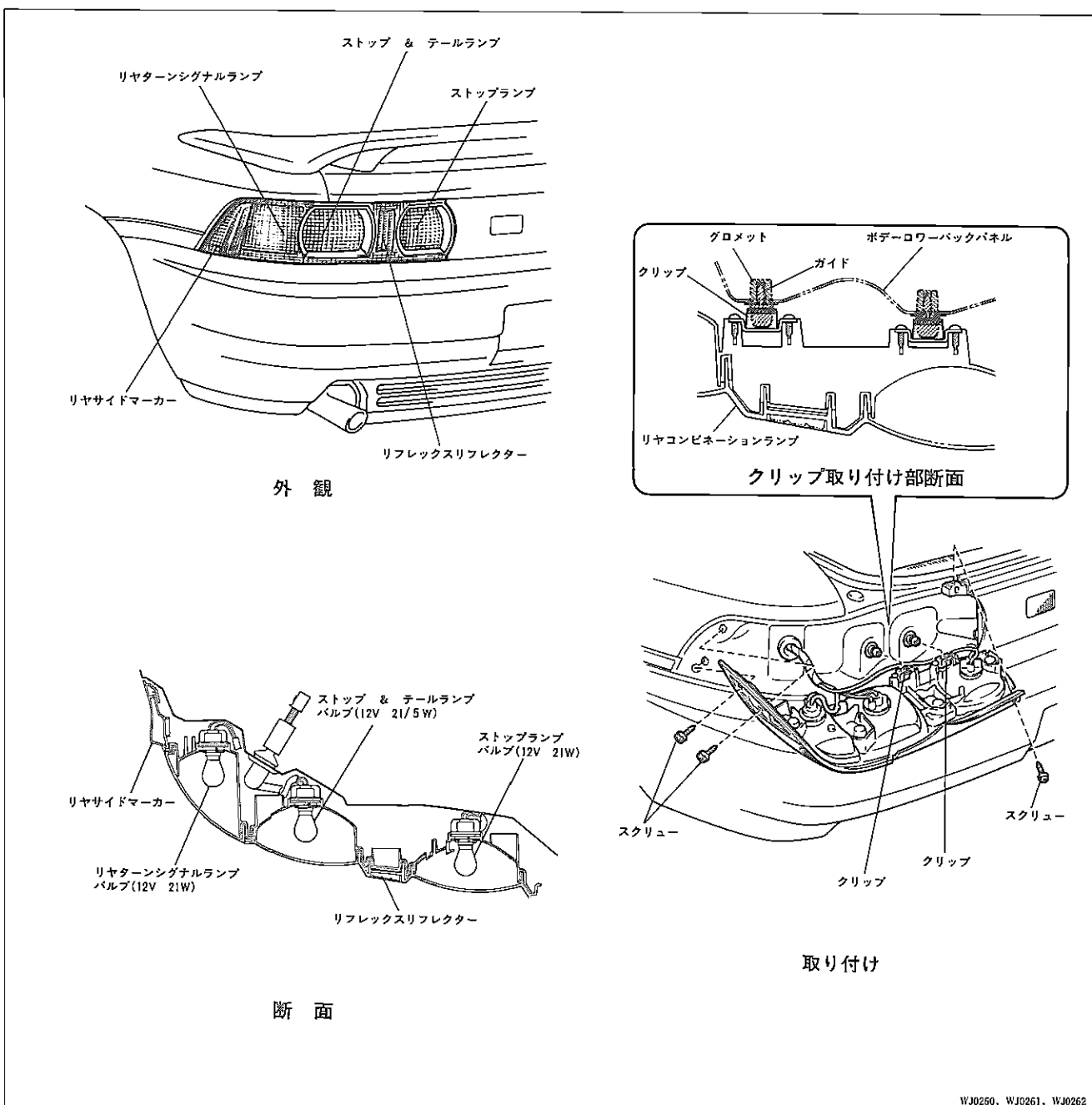
## 仕様

No.	ランプ名称	バルブ種類	No.	ランプ名称	バルブ種類
①	ヘッドランプ (ハロゲン)	12V 60/55W	⑦	ストップ & テールランプ	12V 21/5W
②	フォグランプ(ハロゲン・ホワイト)	12V 55W	⑧	ストップランプ	12V 21W
③	フロントターンシグナルランプ	12V 21W	⑨	バックアップランプ	12V 21W
④	クリアランスランプ	12V 5W	⑩	ライセンスプレートランプ	12V 5W
⑤	サイドターンシグナルランプ	12V 5W	⑪	ハイマウントストップランプ	LED
⑥	リヤターンシグナルランプ	12V 21W			

■機構説明

1. リヤコンビネーションランプ

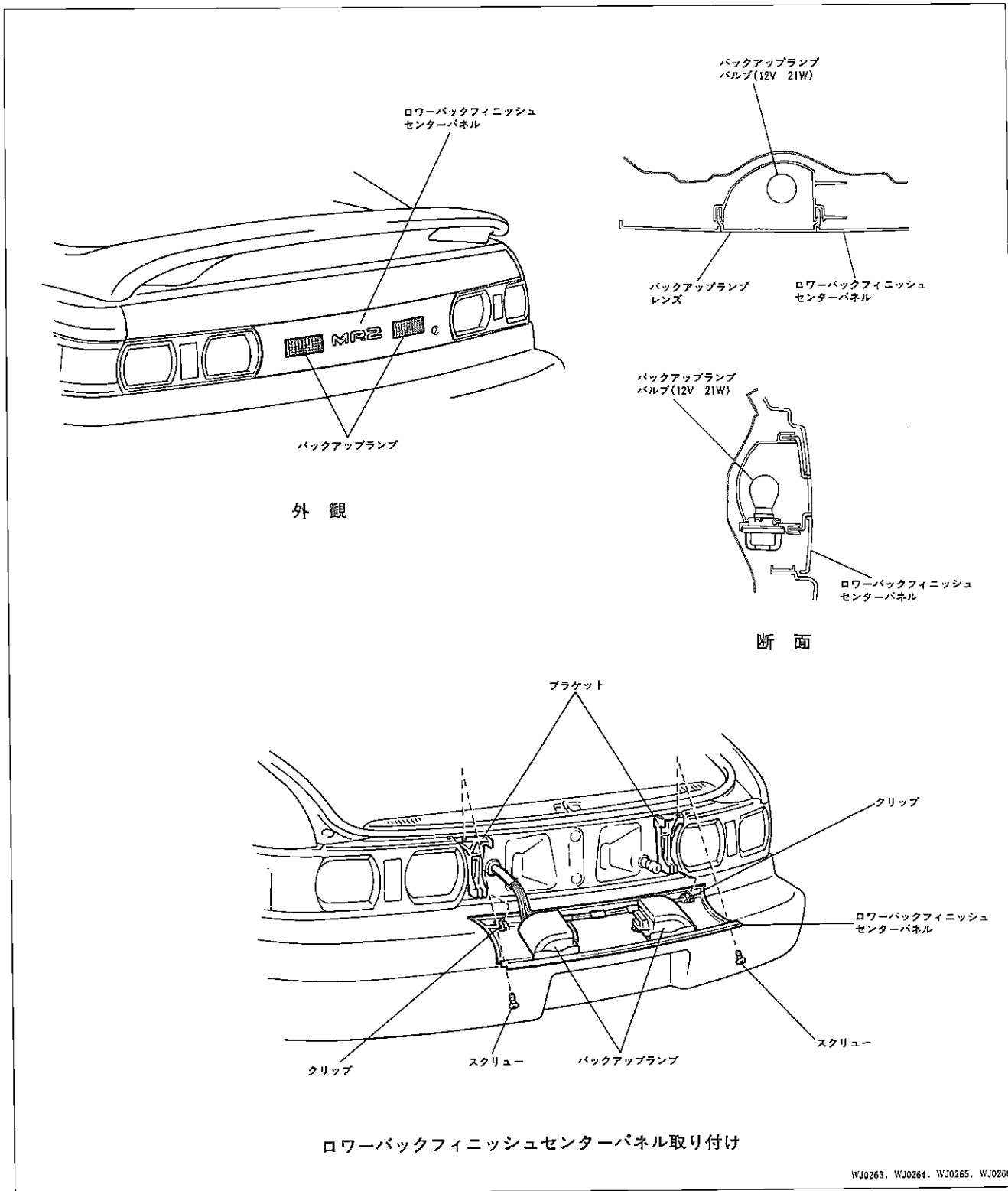
- リヤコンビネーションランプを変更し、ストップ & テールランプおよびストップランプのレンズを丸を基調とした形状とするとともに、各ランプのレンズを独立した意匠とすることにより、スポーティーなものとし、見栄えの向上をはかりました。
- ストップランプ、テールランプは、外側にストップ & テールランプバルブを、内側にストップランプバルブを配置することにより、テールランプ点灯中のストップランプ点灯時には、ランプ輝度が増加するとともに点灯面積が広がり、ストップランプ点灯時における被視認性の向上をはかりました。
- 取り付け方法は、従来と同様、スクリュー締め3箇所およびクリップによるはめ込み2箇所によるものとしました。なお、従来ボデーローバックパネル側に取り付けられていたクリップを、リヤコンビネーションランプ側に変更し、ボデーローバックパネル側のグロメットにガイドを介して取り付ける構造とすることにより、リヤコンビネーションランプ脱着時における作業性の向上をはかりました。



WJ0250, WJ0261, WJ0262

2. バックアップランプ

- バックアップランプを従来のリヤコンビネーションランプ内蔵タイプから、ローワーバックフィニッシュセンターパネル組み込みタイプに変更しました。
- ローワーバックフィニッシュセンターパネルの取り付け方法を、ボデーローワーバックパネル側取り付けのブラケットにスクリー-締め2箇所およびクリップによるはめ込み2箇所によるものとし、リヤコンビネーションランプを脱着せずに、ローワーバックフィニッシュセンターパネルを単独で脱着できる構造とし、バックアップランプバルブ交換時における作業性の向上をはかりました。



WJ0263, WJ0264, WJ0265, WJ0266

4・2 ヒーター & エアコンディショナー

■概要

エアコンディショナーの冷媒に塩素を含まない新冷媒 (R134a) を採用し、オゾン層破壊の防止をはかりました。  
また、電動ファン制御用の圧力スイッチとコンプレッサー制御用の圧力スイッチを一体化した、トリプル圧力スイッチを採用しました。

■機構説明

1. 冷媒 (エアコンディショナー装着車)

- オゾン層の破壊防止を目的として、エアコンディショナーの冷媒を従来の冷媒 (R12) から塩素を含まない新冷媒 (R134a) に変更しました。
- 新冷媒と従来の冷媒には物性上・特性上の違いがあるため、新冷媒用のエアコンシステムと従来の冷媒用のエアコンシステムとは冷凍サイクルを構成する部品やコンプレッサーオイルなどに互換性がありません。このため、各部品および各部品のジョイントなどを変更し、誤使用の防止をはかっています。ただし、コンプレッサーオイル、Oリングなどは誤って使用する可能性がありますので十分注意してください。

▶構造と作動

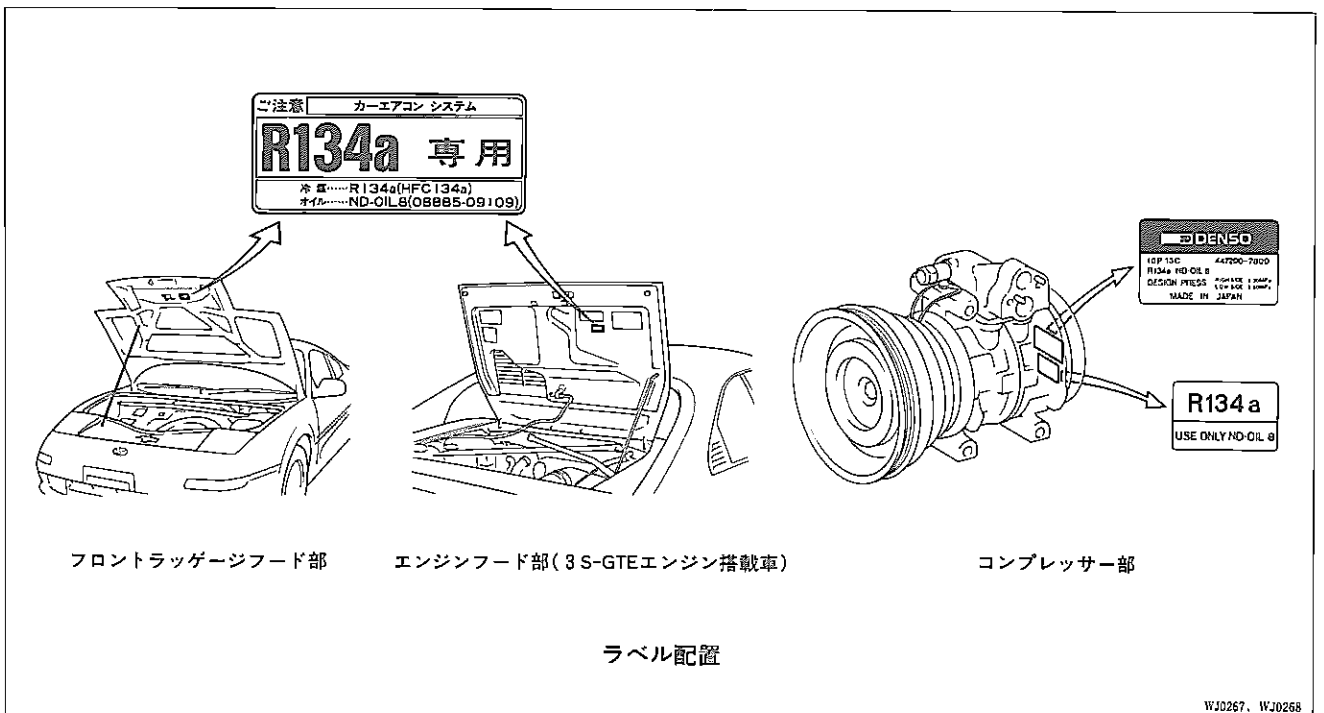
【1】コンプレッサーオイル

コンプレッサーオイルは、冷媒に溶け込んで冷凍サイクル内を循環し、コンプレッサーを潤滑する働きをしていますが、従来のコンプレッサーオイルは新冷媒に溶け込まないためサイクル内を循環せず、コンプレッサーの寿命を著しく劣化させます。このため、新冷媒のエアコンシステム専用のコンプレッサーオイルを使用しています。新冷媒用のコンプレッサーオイルは水分を含みやすいため、使用後は速やかに封をしてください。なお、コンプレッサーオイルの誤充填防止のため、フロントラゲージフードおよびエンジンフードの裏側と新冷媒用コンプレッサーの後部に、適用冷媒と適用コンプレッサーオイルの種類を明記しました。

仕様

冷 媒	R134a (新 型)	R12 (従来型)
コンプレッサーオイル	ND-OIL 8 <PAG*>	ND-OIL 6 <鉱油物>

\*: ポリアルキレングリコール (合成物)



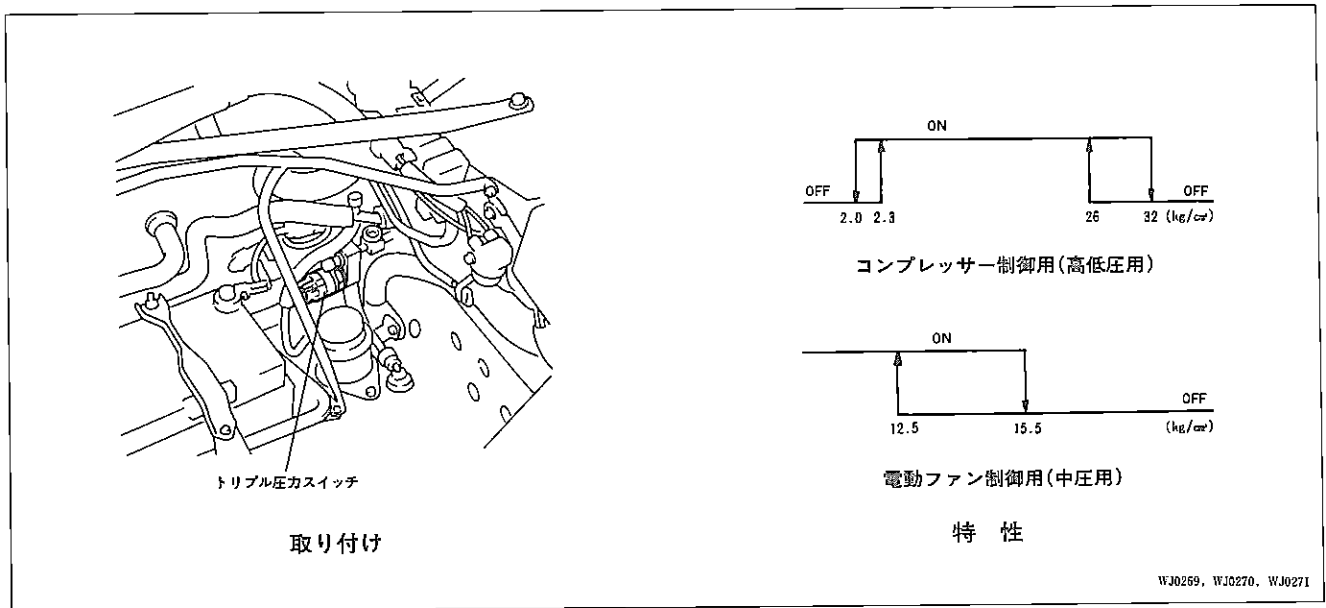
WJ0267, WJ0268

## 【2】Oリング

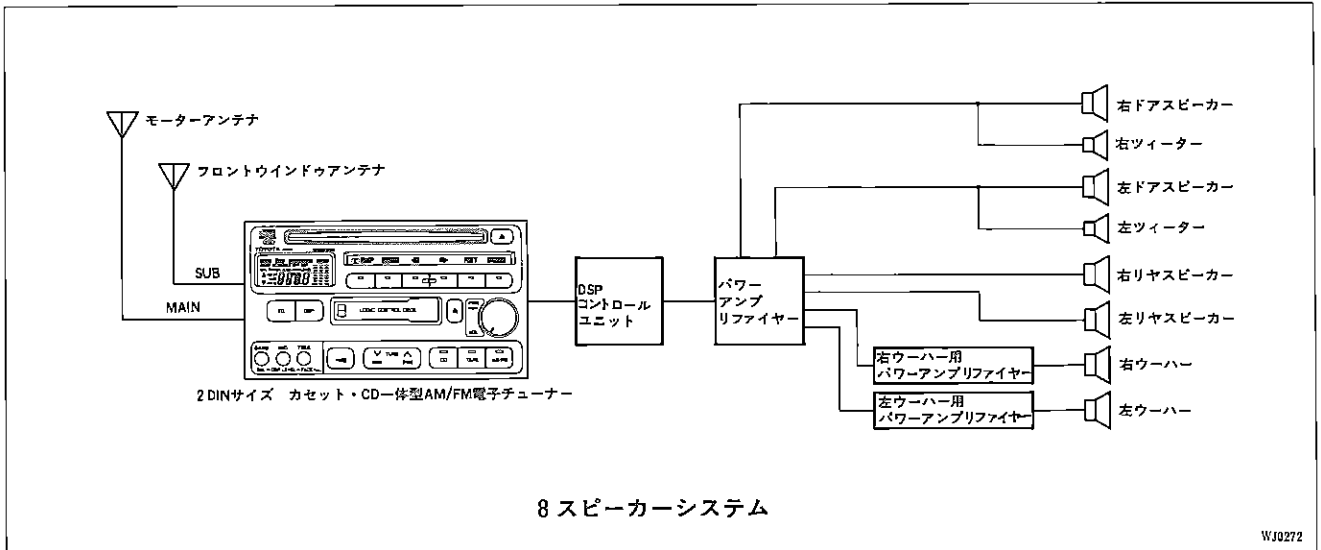
新冷媒用のエアコンシステムと従来の冷媒用のエアコンシステムに使用するOリングは、材質・線径が異なります。このため、新冷媒用のエアコンシステムに従来の冷媒用のエアコンシステムのOリングを使用すると発泡・膨潤し冷媒漏れを起こしますので、絶対に誤使用をしないでください。

## 2. 圧カスイッチ（エアコンディショナー装着車）

- 従来、クーラーユニット部の高圧パイプに取り付けられていたコンプレッサー制御用デュアル圧カスイッチ（低圧および高圧カット用）と、フロントラゲージルーム内の高圧パイプに取り付けられていた電動ファン制御用圧カスイッチ（中圧カット用）を一体化したトリプル圧カスイッチを採用しました。なお、コンプレッサー制御用圧カスイッチの特性を変更しました。
- トリプル圧カスイッチの取り付け位置は、フロントラゲージルーム内の高圧パイプとしました。





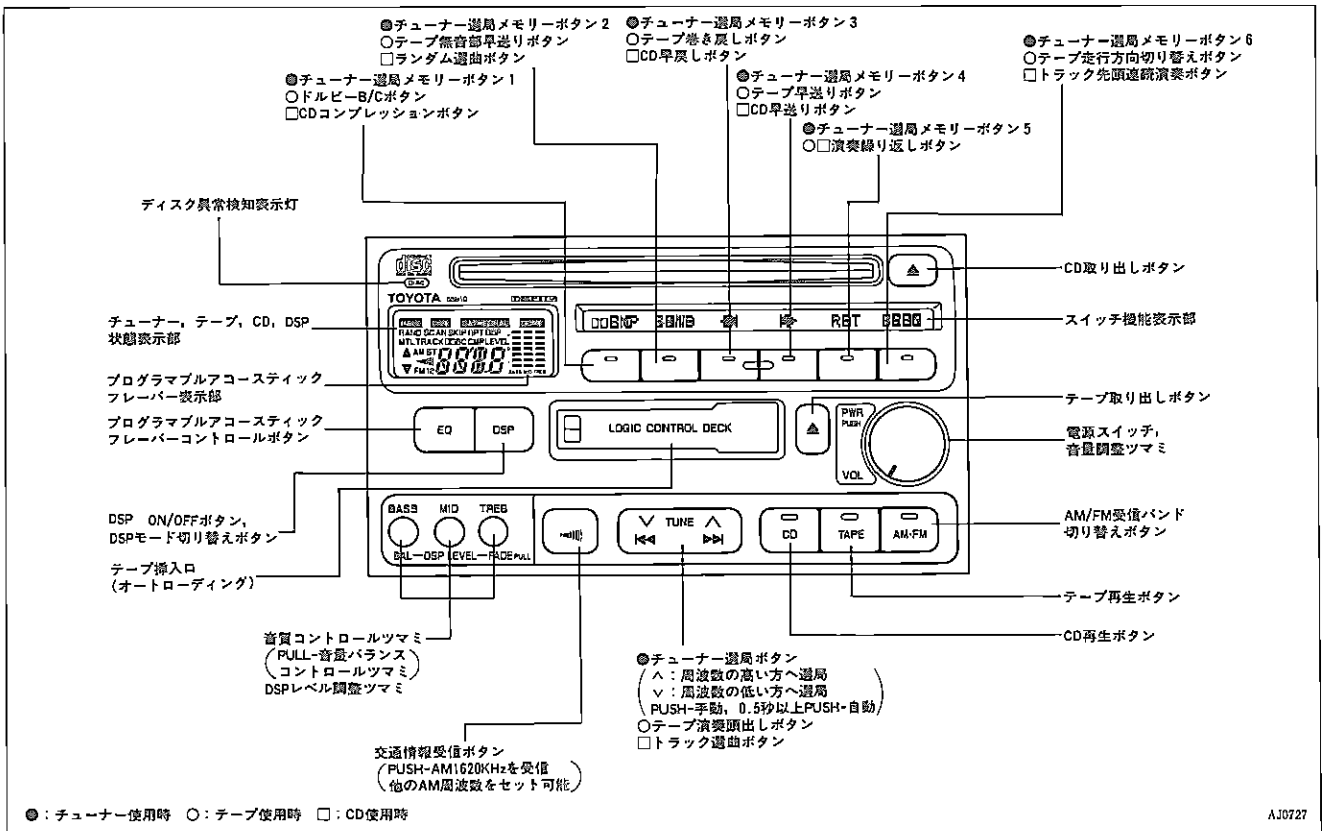


8スピーカーシステム

WJ0272

▶ 構造と作動

【1】表示と機能



AJ027

【2】機能

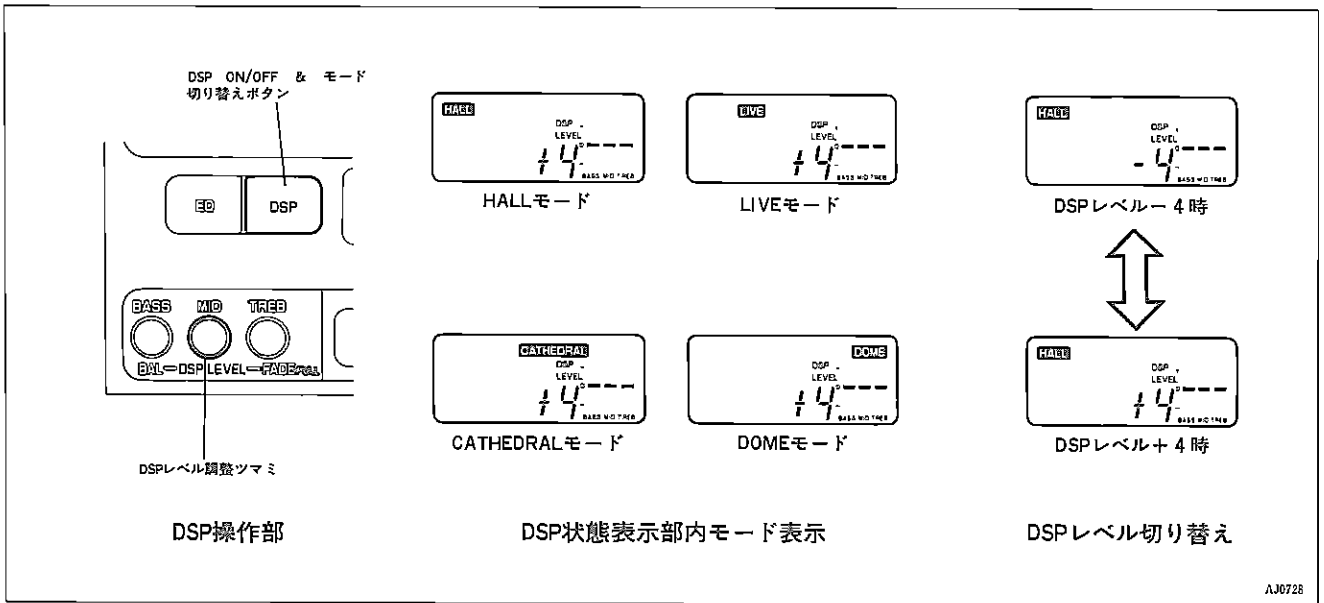
(1) DSP機能 (Digital Signal Processor)

チューナー本体に設けられたDSP表示部のモードおよび調整レベル表示を変更しました。また、DSP ON/OFFおよびモード切り替え操作を、従来の「DSP」、「MODE」の2つのボタンで行っていたものから「DSP」ボタンのみによって行えるものに変更しました。

DSPレベルの調整はDSP ON時、DSPレベル調整つまみを引っ張り、ロックした状態で行います。

なお、機能は従来と同様です。

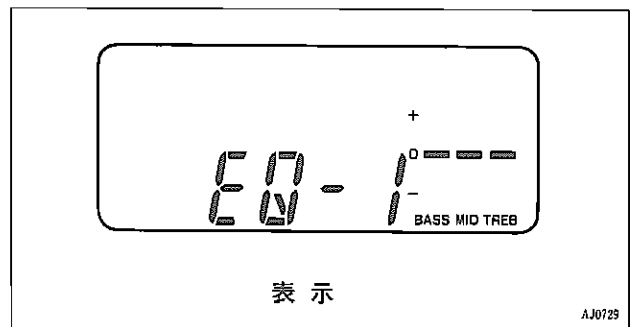




(2) プログラブルアコースティックフレイバー

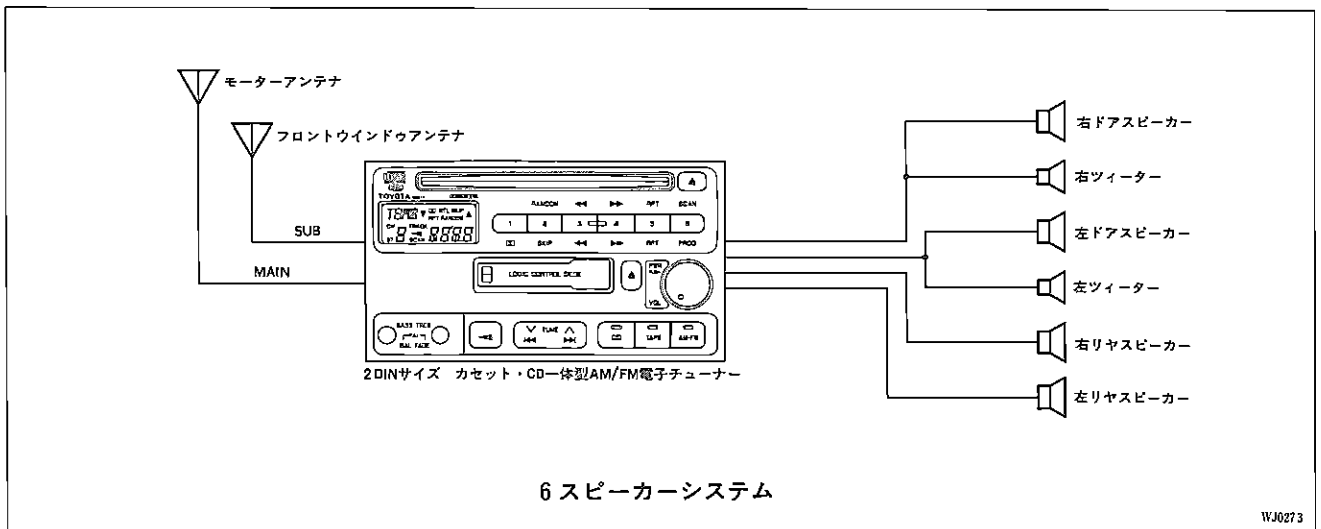
チューナー本体に設けられたプログラブルアコースティックフレイバー表示部の調整レベル範囲および表示を変更しました。

なお、機能は従来と同様です。



2. 2 DINサイズ カセット・CD一体型AM/FM電子チューナー（6スピーカーシステム用）

- 6スピーカーシステム用のチューナーを、従来の1 DINサイズ カセット一体型AM/FM電子チューナー（パワーアンプリファイヤー別置き）から2 DINサイズ カセット・CD一体型AM/FM電子チューナー（パワーアンプリファイヤー内蔵）に変更し、システムの充実をはかりました。
- 8スピーカーシステムに採用の2 DINサイズ カセット・CD一体型AM/FM電子チューナーと同様に、テープ使用時における演奏頭出し操作を、1アクション（◀◀ または ▶▶）とすることにより、操作性の向上をはかりました。
- 従来と同様、機能別照明を採用しました。



▶ 構造と作動

【1】表示と機能

